

ブロッコリーのカルテック施肥例

(10アール当り)

時期	方法	資材と注意						
地力作り	なるべく早い時期に (播種までに1ヵ月以上おくこと)	<p>ラクト・パチルス 600g … 排水よく、根の張りやすい肥沃な土を作ります</p> <p>堆厩肥 2トン (なるべく多く)</p> <table border="1"> <tr> <td>硫安 ……………</td> <td>冬春播き・初夏穫り</td> <td>夏播き・秋冬穫り</td> </tr> <tr> <td></td> <td>100kg</td> <td>60kg</td> </tr> </table> <p>※土壌pH: 6.5を目標として、もし土が酸性なら、地力作り時にも 畑のカルシウムを投入し、土層全体を中和しておきます。特に根コブ病の頻発する畑では、酸性の中和も大事です。</p>	硫安 ……………	冬春播き・初夏穫り	夏播き・秋冬穫り		100kg	60kg
硫安 ……………	冬春播き・初夏穫り	夏播き・秋冬穫り						
	100kg	60kg						
整地時	整地・ウネ作り時に全面散布、またはウネ上に散布	<table border="1"> <tr> <td>畑のカルシウム ……</td> <td>冬春播き・初夏穫り</td> <td>夏播き・秋冬穫り</td> </tr> <tr> <td></td> <td>100kg</td> <td>60kg</td> </tr> </table> <p>※畑のカルシウムは 硫安と同量(以上) 施します。</p>	畑のカルシウム ……	冬春播き・初夏穫り	夏播き・秋冬穫り		100kg	60kg
畑のカルシウム ……	冬春播き・初夏穫り	夏播き・秋冬穫り						
	100kg	60kg						
育苗	<p>{ セルトレイ …</p> <p>{ 地床育苗 …</p> <p>(25～30日)</p> <p>散水時に使用。 状態により適宜調節します。</p>	<p>…畑のカルシウムをトレイ1枚当り 20g(1反分30枚で600g) 散布しておく。</p> <p>…畑のカルシウムを 播種床10平米に 700g, 移植床70平米に 5kg散布</p> <p>※カルシウムでガッチリ充実した苗を作り、定植後 速やかに活着させること。</p> <p>①播種・覆土後の灌水に 濃縮酵素液 1000倍 … 発根・発芽を揃える</p> <p>②播種後10日頃に 濃縮酵素液 1000倍 葉上から散水 …根張り・生長の促進</p> <p>[この後、もし肥切れになったら液肥散布。しかし通常は不要]</p> <p>③定植前5日頃に カルテックCa液状 500倍 … 葉を厚く、充実させる (寒冷紗を外して 苗を馴化する場合は、その前からの散布が効果的)</p>						
定植	定植後の灌水の時に	濃縮酵素液 500倍液 … 初期の根張り・生長の促進, 根コブ軽減						
初期 (20日)	<p>葉面散布で調節</p> <p>★定植後25日頃 Ca液の葉面散布で緻密な花蕾が出来ます</p>	<p>生長が弱い場合は 根を見て下さい。</p> <p>濃縮酵素液 500倍で 葉面散布すると、根が強く働き、生長が進みます。</p> <p>通常、初期にチツソなどの肥料を効かせる必要はありません。</p> <p>{もし肥料不足なら → アミノ酸液 500倍 の葉面散布。</p> <p>{もしチツソ過多や徒長気味なら→カルテックCa液状 500倍 の葉面散布。</p> <p>もし軟腐・黒腐・ベトなどの病気が心配なら→カルテックCa液状 500倍 (酵素液, アミノ酸液, Ca液による調節は その後、収穫前まで継続します。)</p>						
【秋作】 追肥	夏播き・秋穫りでは、定植後25日(～30日)頃に	<table border="1"> <tr> <td>硫安 20kg</td> <td rowspan="2">2種を同時に撒いて土寄せします。花蕾に効かせる栄養ですから、チツソとカルシウムが必要です。</td> </tr> <tr> <td>畑のカルシウム 20kg</td> </tr> </table>	硫安 20kg	2種を同時に撒いて土寄せします。花蕾に効かせる栄養ですから、チツソとカルシウムが必要です。	畑のカルシウム 20kg			
硫安 20kg	2種を同時に撒いて土寄せします。花蕾に効かせる栄養ですから、チツソとカルシウムが必要です。							
畑のカルシウム 20kg								
【冬作】 追肥②	冬穫り・越冬栽培では、11～12月に第2回の追肥	<table border="1"> <tr> <td>硫安 20kg</td> <td rowspan="2">2種を同時に施します。耐寒性を強め、冬の生長力を維持します。</td> </tr> <tr> <td>畑のカルシウム 20kg</td> </tr> </table>	硫安 20kg	2種を同時に施します。耐寒性を強め、冬の生長力を維持します。	畑のカルシウム 20kg			
硫安 20kg	2種を同時に施します。耐寒性を強め、冬の生長力を維持します。							
畑のカルシウム 20kg								
仕上げ	収穫前15日頃、葉面散布	カルテックCa液状 500倍 … 花蕾を充実させ、旨味を増し、品質を向上させます						

{ 冬春播き・初夏穫り…… 1～2月播種(トンネル)、4～6月収穫 / 2～5月播種、5～7月収穫
夏播き・秋冬穫り…… 6～9月播種、9～3月収穫

【留意点】

1) 栽培中 常に、土壌EC: 0.2(～施肥後0.4)、土壌pH: 6.2程度(最低限5.5以上)を保つこと。

- 2) もし葉に凋れなどの異常が出たら、すぐに根を見て、悪かったら酵素液を散布して下さい。
根コブ病の場合でも、夕方～朝方に葉が立ち上がる初期のうちなら、酵素液で回復します。
- 3) 花蕾の質は 定植後30日頃以降、花芽の分化～生長期に決定します。緻密で均一な花蕾を作るには、栄養としてのカルシウムが最も大事です。「キャッツアイ」や異常花蕾は 高温、ホウ素欠乏などの要因もありますが、実際には、**畑のカルシウムやCa液**で カルシウムを充分供給すると、きわめて少なくなります。